



地場産にこだわった
美味しい缶詰を世界中へ

相浦罐詰株式会社



相浦罐詰株式会社

長崎県佐世保市大湊町986
TEL/0956-47-2107
FAX/0956-47-6635
HP/https://www.abccan.co.jp/

代表取締役/加納洋二郎
設立/1949年12月24日
資本金/10,000,000
業種/食料品製造業
従業員数/130名



昭和24年創業。松浦魚市場の新鮮な魚を使用するなど、地場産にこだわったイワシ缶詰、サバ缶詰をはじめ、みかん缶詰、甘夏缶詰を製造。九州でも最大規模の缶詰工場で、イワシやサバを主体的に扱っているのは、関東以西ではここだけ。シンガポールの営業拠点を中心にインドネシア、マレーシア、メキシコにて缶詰・水産加工品の製造・販売を行うなど、グローバルに展開している。

事業のテーマ

楕円型(鯛缶)の箱詰め工程の自動化計画

事業のきっかけ

丸缶(サバ)は箱詰め工程の自動化が進んでいるが、楕円缶(イワシ)は形状がネックとなり、箱詰めの自動化が難しく、人の手によって箱詰め、検査作業を行っていた。しかし従業員の高齢化が進み、人手不足が激しい地方の食品製造工場において、後工程の自動化は喫緊の課題であった。

事業内容・成果

これまでは4、5人のスタッフが缶に傷がないかなどの外観検査を行いながら、同時に箱詰めを行っていた。今回導入した「スカラロボット」は、コンベア上にランダ

ムに流れてくる製品を画像処理により形状、位置を計測し、水平多関節ロボットにより、吸着・箱詰めを行うというもの。箱詰めが自動化できたことで作業が効率化し、人員の削減につながった。またドライブレコーダー搭載型制御システムを導入したことで、離れた場所でもシステムトラブルなどの状況を監視できる体制が整った。自動化が進んだことにより、会社に新しい風が吹き、従業員の中で「もっとこんな工夫をしてみたらどうだろう」というような意識が芽生えたのは、意外な成果であった。

今後の展望

当社は来年、創業74年を迎える。今後は、原料の日抜きや製造に関わる技術など、これまで培ったものを大事にしつつ、IoT化を含めた新しい設備を導入することで生産能力を向上させ、日本および世界中に美味しい缶詰を届けたい。

ものづくり補助金活用

外観検査
+
箱詰めにかかる人員

5名 ▶ 3名

箱詰目を自動化したことで、
従業員の意識改革もできた!